

## 全日本高等学校書道コンクール 13回連続最優秀校の佐賀北高等学校

多久町の陣内さん(3年生) 小形さん(2年生) 最高賞を受賞

全日本書道芸術協会が主催する、第13回全日本高等学校書道コンクールで、全国198校、約2万点近く出品された作品の中で、最高賞55作品のうち20作品を佐賀北高等学校書道部員の作品が占め、同校が最優秀校に13回連続で選出されました。この最高賞20作品のうち、鄭分公下碑賞(画仙紙の部)に輝いた普通科芸術コース書道科3年生の陣内千穂さんと楽毅論賞(平紙の部)を獲得した同じく書道科2年生の小形有香さんにお話を伺いました。

「素晴らしい賞をもらって大変うれしい。」と喜びを素直に語られる小形さん。「来年は他の書体でもがんばりたい。」と抱負を語ってくれました。

間もなく卒業を迎える陣内さんは、「小学校1年生の頃から書道を始め、道を究めたくて北高を選びました。」とその目標に違えず、最高賞の受賞と、連続最優秀校の伝統を後輩に残されました。



右から書道科の池田先生、陣内さん、小形さん

今後は佐賀大学に進まれ、小学校の先生を目指してさらに勉学に励まれます。来年は14回連続受賞の期待がかかる、小形さんはじめ北高生徒のみなさん。先輩方に負けず、がんばってください。

### 第18回 佐賀北高等学校 芸術コース

#### 書道科卒業記念展のお知らせ

■会場 佐賀市文化会館1階イベントホール

■日時 3月19日(水)～22日(土)の4日間

10時～18時(22日は16時まで)  
※期間中は書道部生徒による揮毫会も催されます。

## 市長コラム

### 青春とは心の若さである

3月は巣立ちの季節。青春のもつ可能性へのはばたきです。「青春の詩」という有名な詩があります。今年の成人式でも紹介しました。松下幸之助氏もその趣旨を凝縮し「青春とは心の若さである」と墨筆し、日々ご覧になっていたそうです。

「青春とは人生のある時期のことではなく心のあり方をいう。創造力・強い意志・燃える情熱・勇気・冒険心を青春という。年を重ねただけで人は老いない、理想を失うときに老いる。歳月は皮膚にしわを刻むが、情熱の消失は心にしわをつくる。悩み、疑い、不安や恐怖、失望が老いさせ魂をだめにする。」

「人は自信とともに若く、恐怖とともに老いる。

希望ある限り若く、失望とともに老いる。」

「自然や神仏や他者から、美しさや喜び、勇気や力などを感じ取ることができる限り、その人は若い。」(抜粋)

作者はサミュエル・ウルマン。1840年4月13日のドイツ生まれ。後に両親とともにアメリカに移住し、アラバマ州に住み、教育者・実業家として活動しながら執筆を続けました。この詩は彼が70代のときの作品で、1922年に家族が発行した詩集「80年の歳月の頂から」の巻頭を飾っています。彼はその2年後に永眠しましたが、1945年に「How to stay young (若さを保つには)」のタイトルで米誌『リーダーズ・ダイジェスト』に掲載されました。

市内の高砂会ではこの詩を毎月の例会で唱和されています。お互いに心の若さを忘れず、良き春を迎えましょう。(俊)

## 平成19年度 市長交際費支出状況

支出種別	区別	件数	金額(円)
弔慰	1月分	4	36,275
	累計	65	217,800
見舞い	1月分	1	10,000
	累計	3	30,000
御祝	1月分	0	0
	累計	26	172,040
賛助	1月分	1	4,289
	累計	12	83,289
激励金	1月分	0	0
	累計	0	0
接遇	1月分	2	11,039
	累計	55	139,873
会費	1月分	8	29,000
	累計	32	176,000
その他	1月分	1	30,450
	累計	6	50,715
合計	1月分	17	121,053
	累計	199	869,717

◎詳細は市のホームページに掲載しています。

■問い合わせ 総務課・秘書係 ☎75-2115

▶ 市長のホームページ <http://www2.saganet.ne.jp/ys/> ◀